

教育長、教育委員とZooFulとの意見交換会 開催報告書

日時：令和2年2月21日（金）15：30～16：30

場所：おびひろ動物園 動物園センター

出席者 ZooFul 7名

代表 梅村薫人、会員 柏倉琢磨、岩館美沙、渡邊ゆき、村瀬さち、富田綺咲、吾田佳穂
教育長、教育委員 3名

教育長 池原佳一、教育委員 藤澤郁美、佐々木しゅり、塩野谷和男

次第

- 1 開会
- 2 帯広市教育委員会 池原教育長 挨拶
- 3 ZooFul 梅村代表 挨拶
- 4 出席者自己紹介
- 5 意見交換
- 6 閉会



意見交換（要旨）

●教育長、教育委員 ○ZooFul

○主な活動としては土日祝日に、ちびっこふぁーむで触れ合いのお手伝いをしてお客さまには楽しく時間を過ごして頂きたいと思っています。他には季節ごとに年4、5回イベントを企画して、皆で話しあいながら動物園側と連携して進めています。大学内の活動としては1年生に向けた動物園実習があるので、園内を説明するガイド役をZooFulが担っています。

●運営は全部皆さんが行っているのですか。

○動物園と調整して企画内容を決めて、出来る限り会員が集まれる日などに行っています。ガイド役は私が行うことが多いですけど、他のメンバーも出来るよう皆で集まって説明内容を確認しています。

●先ほど梅村さんは全国の動物園を巡っているとおっしゃっていましたが、ZooFulで視察に行ったりとかはしていますか。

○ZooFulとして視察などはしていないですが、私は帰省の度に動物園を巡っています。鹿児島の方まで足を運んだりしています。

○展示という点では動物園に限らず、博物館も参考になります。

●今活動していること以外に、こうしたいとか考えていることはありますか。

○ボランティアとして、何をどこまでやっていいのがボランティアの範囲が曖昧で自分たちでも分からないことがあります。

●ZooFulとしてまたは個人としてやってみたいことがあれば聞かせてください。

○動物の飼育をしてみたいです。もう少し密接に関わりたいという気持ちはあります。

○ちびっこふぁーむの小動物以外も関わりたいと思っています。

○動物園のことを知って、動物園もZooFulも地域の方に広めていく活動が出来ればと思います。
○飼育員に間違われることがあり、ボランティアが認知されていないと感じます。学生だけではなく一般の方も入会出来ますが、学生主体で活動しているので、一般の方が入ったときにどう運営していくかも課題です。

○会員は30人程いますが意識の差もあり、イベント時にメンバーが集まらないことがあります。忙しい中でもボランティアしたいと思えるものがあれば良いのですが、中々見つけられないことが悩みです。

○教育委員としてまたは一般の方の意見として、ボランティアに何かして欲しいこととかはありますか。

●ボランティアの方がいてくれて有難いと思っています。ボランティアを通して自分自身が楽しんで学んで欲しいと思います。飼育員希望の方もおり、せっかくの機会ですのでいろんなことを吸収して欲しいです。

○開かれた教育委員会づくりという説明がありましたけど、具体的にはどのようなことをしているのですか。

●教育委員会として“こんなことを考えています”と発信することと、市民の方がどんなことを思っているのか、お互いに知ることが必要だと思っています。いろんな人とお話をしてみちづくりを進めていく、そういう意味で「開かれた」と言っています。

●ボランティア活動とは別に、来園者としてこうであったらいいなと感じることがあれば聞かせてください。

○動物種や展示も大事ですが、園路が整備されていたり柵がきれいになるだけでも雰囲気が変わると思います。

○設として地域の人と動物との関わりや、その動物が今どういった問題を抱えているのかなど動物との共存について伝えられるような展示が出来れば、自然豊かな北海道に暮らしている人には良いと思います。

○掲示物について、大人も子どもも楽しく学べると良いと思います。

○動物福祉に配慮して欲しいのはもちろんですが、普段見ることのできない動物の姿を映像で見られると楽しいと思います。他には毛皮やレプリカを用いて動きを見せるだけでも気づいたときの喜びは大きいと思います。

○十勝の動物園として家畜などの動物について学べる教育的な取り組みがあると良いと思います。

○子ども連れや高齢者に配慮した、動物を見ながら休憩できるスペースを増やしていただければ良いと思います。

○何度でも行きたいと思うような動物園だと良いと思います。季節によって掲示内容を変えるとか、そういった取り組みを継続することが大切だと思います。

以 上